

星のたより

2026(令和 8)年
10月号
Vol.385



☆今月の豆知識☆ (だ) いさんかくで有名なのは、夏の大三角と冬の大三角だよ。実は春も大三角があるんだよ。じゃあ秋は？ 残念ながら秋は大三角がないんだけど、その代わりに秋の四辺形があるんだ。ペガサスの四辺形とも呼ばれていて、ペガサス座の中の四角がそうだよ。2等星と3等星だから、ちょっと見つけにくいかもね。え？ ペガサスじゃないかって？ 同じものだけ星座の読み方はペガサスになるみたいだよ。

イベント情報 ★★★★★★★★★★★★★★

アストロ宇宙講演会「サンプルリターンがひらく夢」

日時：2026年10月12日(月・祝)13:30～15:00

参加費：一般(高校生以上)300円、中学生以下無料

定員：80名(予約が必要です)

中村栄三氏(元岡山大学惑星物質研究所)を講師に、小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」のサンプル分析した経験から、これからの宇宙開発について語っていただきます。

講演会の申込はこちらから↓↓



☆期間展示☆

さじアストロパークコレクションシリーズ②「メシエ天体」

日時：6月17日(水)～12月6日(日)まで

場所：さじアストロパーク

★★★★今月の開館情報★★★★

2026年10月							開館時間 10:00～17:15 (金・土～22:00)
							夜間予約 19:00～21:00 観望会 20:00～
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
27	28	29	30	1	2	3	
4	5 休	6	7	8	9	10	
11	12 観望会なし	13 休	14 休	15	16	17	
18 観望会なし	19 休	20 休	21	22	23	24 特別イベント	
25	26 休	27	28	29	30	31	
1	2	今月のイチオシ					土星・海王星
夜の観望会 やってます		夜の観望会 予約OK		※イベント・天候などにより変更することがあります。最新情報はHPをチェック			

☆宇宙ふしぎ探検☆

月と土星・海王星を見よう

日時：10月24日(土)19:30～20:50

いよいよ土星の観望シーズン到来！ 昨年よりも少し輪が見えやすくなった土星と、月、最果ての惑星・海王星を見よう。

さじアストロパーク・佐治天文台

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

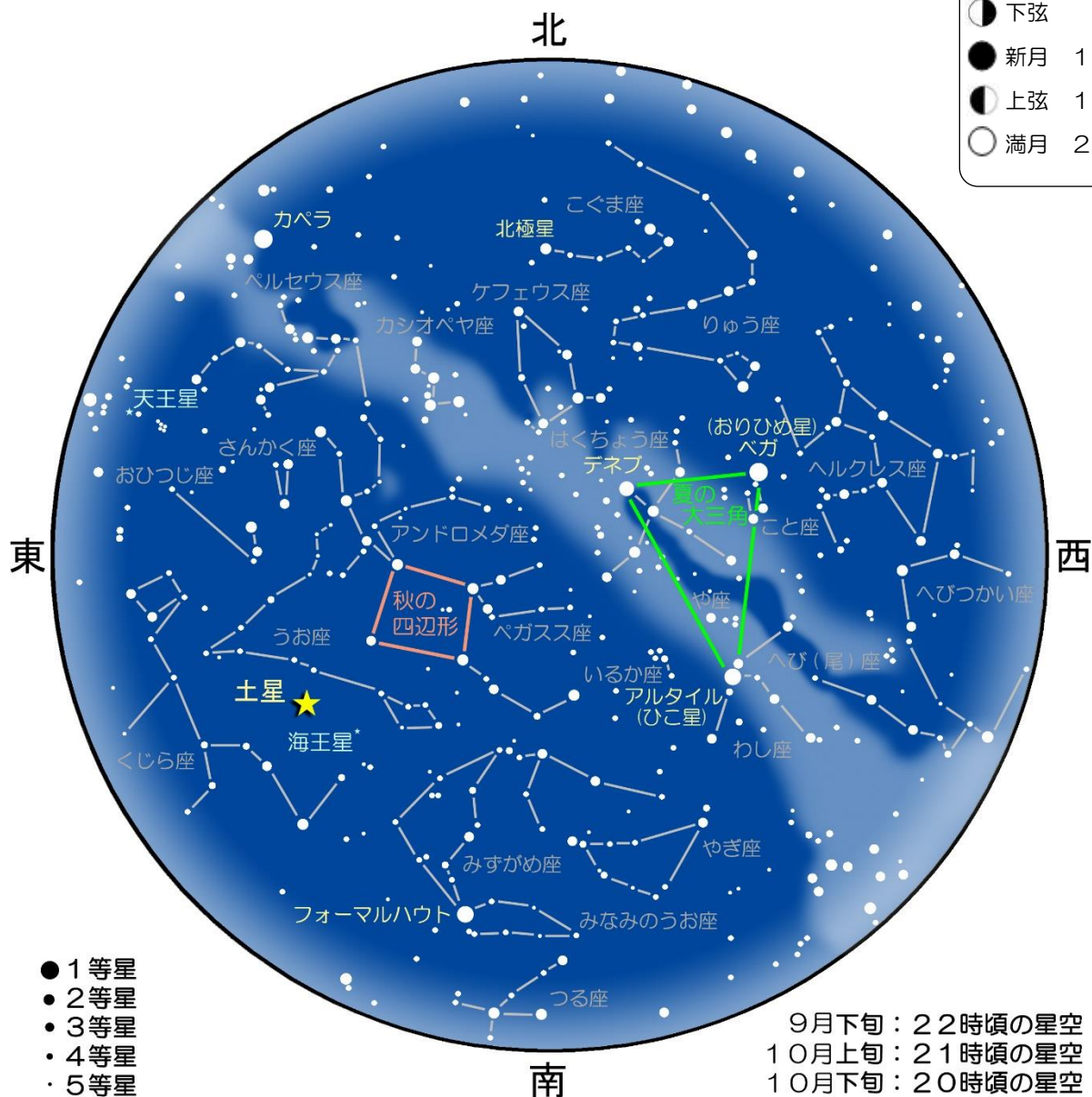
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp

2026年10月の星空

今月の月の暦

- 下弦 3日
- 新月 11日
- 上弦 19日
- 満月 26日



☆10月になると、夜の時間がかなり長くなり涼しい日が増えてきます。日没時刻もどんどん早くなり早めに星が見えてきますが、夜は寒くなりますので暖かい服装で星空を観察しましょう。

☆「夏の三角形」が、西空に見られるようになりました。天の川の目印になりますので、しっかりと確認しておきましょう。10月中旬までが、月明かりがなく天の川を見るチャンスです。

☆夏の星たちがある西空と比べて、秋の星たちのある東側は明るい星が少なくて少し寂しい感じですが。明るい星が少ない中で、「土星」が目を引きますね。土星は惑星ですので、星座の星ではありませんが、南の空の低いところにある「フォーマルハウト」が、星座の星では秋の星空の中ではただ一つの1等星になります。土星の近くには「秋の四辺形」が見えています。

フラネタリウムや観測会の時間、
休館日、宿泊の予約など最新情報は、
ホームページ&YouTube
各種 SNS(X、Facebook、インスタ)
をチェック



発行: さじアストロパーク 鳥取市佐治町高山 1071-1

10月 やかんかんぼうかい てんたいかんさつかい 夜間観望会(天体観察会)

103cm 大型望遠鏡で
星空観察

星の集まり M15

(公開天文台 100 周年記念)

※観望会終了後に園地にて
スマホで天の川の撮影に
チャレンジします。

土星・海王星 16日(金)、17日(土)、23日(金)

観望会で月がよく見える 23日(金)、24日(土)

観望会で満天の星が楽しめる 2日(木)～17日(日)の観望会実施日



こんな天体が見ごろです M15、M31(アンドロメダ銀河)

M15

種類: 球状星団

星座: ペガサス座

明るさ: 6.2等

距離: 33600光年

ペガサスの鼻先のところにある球状星団
M15です。秋に見える球状星団の中で
一番のおススメで、星がぎゅうぎゅうに
集まった姿を観察してください。



アルマク

種類: 二重星

星座: アンドロメダ座

明るさ: 3等と5等

距離: 2600光年

アンドロメダ座のγ星のアルマクです。
アンドロメダの左足のところに輝く2
重星です。3等星のアルマク(金色)と
そばで輝く5等星(青色)のペアです。
色の違いと星の輝きに注目です。



M31

種類: 銀河

星座: アンドロメダ座

明るさ: 4.4等

距離: 250万光年

銀河の中では一番のおススメ「M31」
です。アンドロメダ座にあるので「アン
ドロメダ銀河」とも呼ばれています。

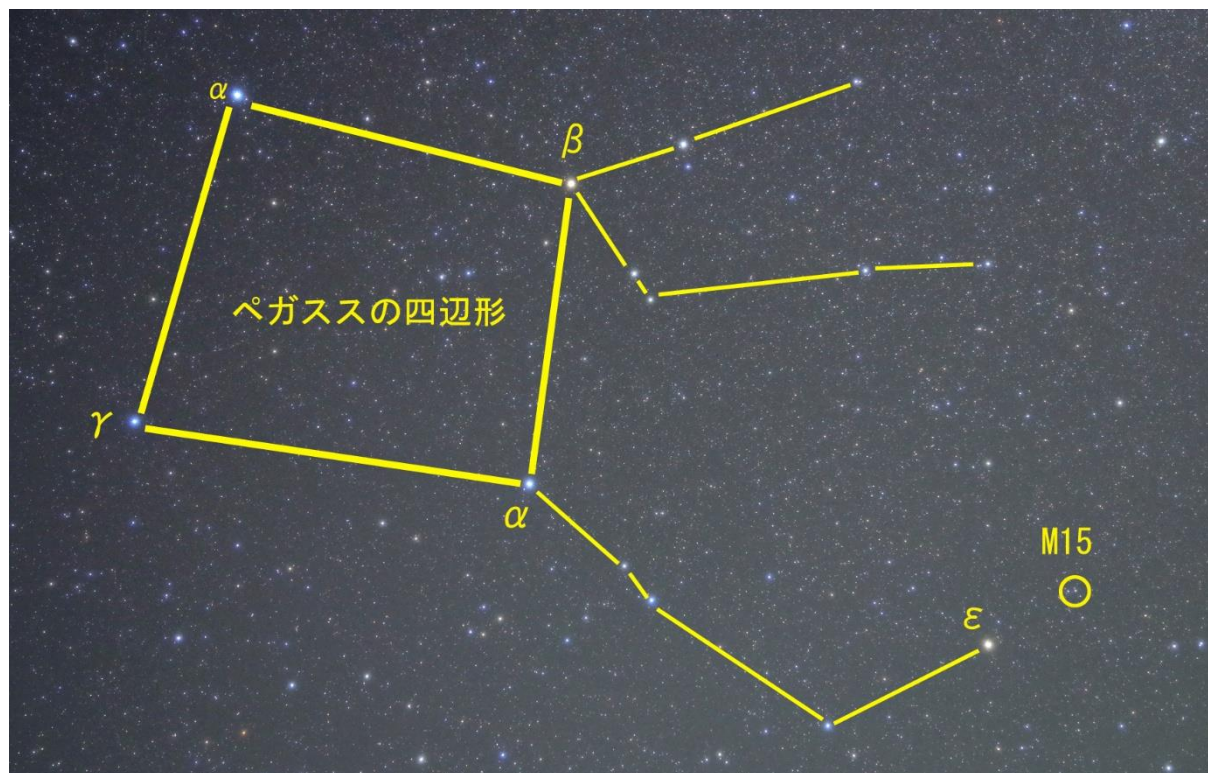
星がたくさん見えるところでは肉眼でも存在がわかります。低倍率の望遠鏡での観察がおすすめです。

私たちの天の川銀河から250万光年離れた場所にあります。天の川銀河とアンドロメダ銀河は接近して
いて、およそ50億年後には一つの銀河になると言われています。



こんげつ
今月のイチョシ星座

ぜ
ペガサス座



み
見つけ方 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

10月の夜8時～9時ころに南の空を見上げ少しだけ目線を東に向けてください。明るい星を4つ見つけて四角形をつくれます。これが「秋の四辺形」で、ペガサス座の胴体部分にあたりますので「ペガサスの四辺形」とも呼ばれます。右下のα星から頭と首、右上のβ星から前足にあたる星をたどります。ひっくり返った馬の上半身を見つかる事ができます。画像ではα星が2つありますが左上のα星はアンドロメダ座の星です。ひとつ借りています。

せいぜい ゆらい しんわ
星座の由来・神話 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ギリシャ神話では勇者ペルセウスが怪物メドゥーサの首をはねたとき、ほとばしり出た血が岩の割れ目に飛び散り、その割れ目から天馬ペガサスが飛び出した（生まれた）と言われています。「ペガサスの母親はメドゥーサか？」となりますね。

星座の名前ですが「ペガサス座？ ペガサス座？」という疑問がありますが、星座の名前はラテン語から来ているので星座名としては「ペガサス座」が正解です。

おも てんたい
主な天体 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

★M15（球状星団）※夜間観望会の記事を参照

主な天体としては星座の鼻先あたりに星の大集団でもある球状星団M15があります。

プラネタリウムのおしらせ ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ばんぐみ デジタル番組 「ルネサンス 望遠鏡の新しい時代」

投影期間は 7 月 23 日(木)～11 月 15 日(日)



ルネサンス

Renaissance 望遠鏡の新しい時代

ナレーション: 豊崎愛生

天文学に新たなルネサンスが訪れる

ルネサンス期に芸術文化が栄え、天文学も地動説への変革があった。

望遠鏡がそのきっかけであり、現在も新たな天文学の時代を迎えている。

ティコ・ブラーエやケプラーの貢献、ガリレオの発見、ニュートンの反射望遠鏡の発明など、400年以上にわたる人類の探求心を描く。

望遠鏡クイズ! その2

Q. ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が観測している電磁波はどれ?

- ① エックス線
- ② ガンマ線
- ③ 紫外線
- ④ 赤外線

正解はプラネタリウムでチェック!

華やかな芸術文化が開花したルネサンス期。天文学の世界も地球中心説から太陽中心説へと変わりつつありました。

そのきっかけの一つが天体望遠鏡です。そして今、新たな「ルネサンス」を迎えています。

肉眼の観測で宇宙を探っていたティコ。太陽中心説を確実なものとしたケプラー。偶然発明された望遠鏡とそれを使ったガリレオの新たな発見の連続。反射望遠鏡を発明し望遠鏡の革新をもたらしたニュートン。地上で活躍する大型望遠鏡やハッブル宇宙望遠鏡。そして新たな天文学を切り開くジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡など400年の時を越えた人類の探求心を描いていきます。

投影開始時刻	平 日	10:30 ~	なし	14:00 ~	16:00 ~
	土・日・祝	10:30 ~	12:30 ~	14:00 ~	16:00 ~

投影時間 (約45分間) 前半 (約18分) : 専門職員による今夜の星空生解説
 後半 (約27分) : デジタル番組「ルネサンス 望遠鏡の新しい時代」

プラネタリウム観覧料 一般(高校生以上) 300円、小中学生200円 (入館料別)

※イベントや団体利用などで開始時刻が変わる場合があります。
 最新情報は [HP](#) をご確認ください。

宇宙ふしぎ探検



「月と土星・海王星を見よう」

日時：2026年10月24日(土) 19:30~20:50

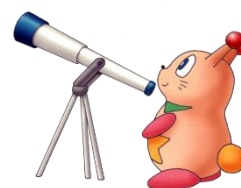
19:30~19:50 土星・海王星の説明

20:00~20:50 103cm望遠鏡で月・土星・海王星などを観察

参加費：一般(高校生以上)600円、小人(小中学生)300円(入館料・観望料として)

定員：40人(事前予約が必要)

その他：天候不良時は、プラネタリウム室で土星や星座などの紹介を行います



土星は肉眼でもみえますが、海王星は望遠鏡を使わないと見ることはできません。今回は月と土星、そしてあまり見る機会のない海王星を大型望遠鏡で見ます。

月

基本情報



直径：約3746km
地球からの平均距離：約38万km
自転周期：約27.32日
公転周期：約27.32日



クレーターは別の天体がぶつかってできた衝突の跡です。月には空気や水がないので、大昔にできた跡が消えずに残ります。少し黒っぽい「海」と呼ばれる場所は、衝突後1億年以上たってから月の内部から出てきたマグマが巨大なクレーターを埋めてできた平坦な地形です。

土星

基本情報



直径：約120540km
太陽からの平均距離：約14億2940万km
自転周期：約10時間30分
公転周期：約29.5年



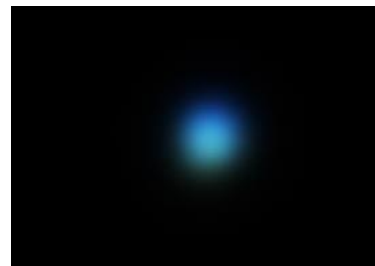
太陽系の中で2番目に大きな惑星で、地球の約9倍あります。特徴は環です。環は氷のつぶでできています。環ができたのは今から1~2億年前で、将来的には消えてなくなってしまう、といわれています。非常に大きな惑星ですが、土星を浮かべることでできるプールがあれば水に浮いてしまいます。

海王星

基本情報



直径：約49530km
太陽からの平均距離：約45億440万km
自転周期：約16時間
公転周期：約165年



現在、「太陽からもっとも遠い惑星」となっている海王星は、天王星の観測データから天王星の外側に未知の惑星があると考えた天文学者たちによって1846年に発見されました。その発見のわずか17日後には、第1衛星のトリトンも発見されています。特徴はアイスブルーと表現される表面の青い色です。

気軽に星空を
たのしもう！

キラットちゃんの耳より情報コーナー★ 「人工衛星を探してみよう」



星空をながめていると動いている星を見つけたことはありませんか？人工衛星かもしれませんね。
本記事で紹介している Web サービスの機能や仕様は、執筆時点（2026 年 8 月 30 日）のもので、最新情報は利用前にご確認ください。

人工衛星って何？



気象観測や通信・GPS などの目的のために人工的に宇宙空間に打ち上げられて地球（惑星）の周りを周回している装置や施設のこと。国際宇宙ステーション（ISS）も人工衛星の仲間です。目的によって軌道高度の種類があり、夜空で見つけることができるのは低軌道（高度 200km～2000km）の人工衛星です。

人工衛星の見分け方

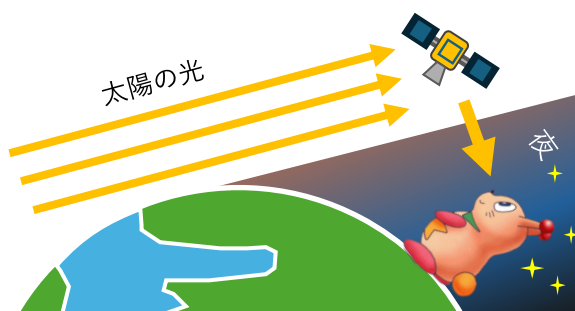


★ どんな風に見えるの？

点滅せずゆっくりと動いている星があれば人工衛星でしょう。人工衛星が地球の影に入り太陽の光が当たらなくなると見えなくなります。見間違えやすいものは飛行機と流れ星です。下に紹介しているサービスなどで人工衛星の名前を調べたりできます。

飛行機・・・点滅しながら飛んでいきます。ライトが点滅しているので真夜中でも見えます。

流れ星・・・一般的に人工衛星よりもスピードが速く、長いものでも数秒で消えます。



★ 「人工衛星」はなぜ見える？

人工衛星は自分で光っていないので、日の出前や日没後など、地上が夜になったあと、上空の人工衛星に太陽の光が当たっている時間だけ見ることができます。

「いつ見えるかな？Web サービスを活用しよう！」

人工衛星を調べるのに便利なところ



★ 人工衛星をみよう

倉敷科学センターの三島さんが開発中の人工衛星や ISS、スターリンク、ハッブル宇宙望遠鏡、ロケットの打ち上げなどいろいろな軌道計算と観測予報ができる。3D 表示などの機能も楽しい。

★ #きぼうを見よう

ISS といえばここ！詳細は星のたより 2026 年 5 月号へ。

★ Heavens-Above

かなりたくさんの専門的な情報を調べられる海外サイト。

★ ISS Transit Finder

ISS が太陽や月の前を通過するタイミングを調べるならこちら。

画面を紹介するためのアイコン・スクリーンショット等は、著作権法の「引用」の範囲内で使用しております。
その他、記載されている会社名および製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

かつどうほうこく アストロ活動報告



8月にあった日々の出来事やちょっとした事件、イベントの様子をお伝えします。

地元高校生による流星観測 2026年8月6日(木)

鳥取西高・米子東高・津山高校の生徒たちが、さじアストロパークに宿泊して流星観測にチャレンジしました。天気に恵まれ、多い班は30分で16個の流れ星を観測しました！



テンペル第2彗星のダストトレイル 2026年8月7日(金)

地球に接近して見ごろとなっているテンペル第2彗星 10P にダストトレイルが見えるということで、103 cm望遠鏡での撮影に挑みました。思いのほか簡単にとらえることができました。これは彗星から噴き出したチリ（ダスト）が作るもので、もしここに地球が遭遇すれば、たくさんの流れ星が現れます。

マクノート彗星が増光 2026年8月8日(土)

8月5日に爆発的に明るくなった（バーストと言います）マクノート彗星 220P を撮影しました。6等級になっていて、エメラルドグリーンに輝くコマの中に、広がるダストと思われる構造、そして長いイオンの尾が写りました。



ペルセウス座流星群 2026年8月12日(水)～13日(木)

ペルセウス座流星群が8月12日(水)・13日(木)に見ごろとなりました。12日は雲が多かったですが、13日は晴れて、たくさんの流れ星が見えました。今年は月明かりの影響がなく、満天の星の下、流星観察が楽しめました。



画像はXなどで公開しています

ローマン宇宙望遠鏡 2026年8月30日(日)

ナンシー・グレース・ローマン宇宙望遠鏡が打ち上げられ、地球から離れていく様子をとらえました。低空で雲もあり、鮮明には写りませんでした貴重な記録となりました。



や座新星 2026年8月30日(日)

8月25日に9等で発見され、7等まで明るくなった「や座新星 V488 Sge」を撮影しました。発見から5日後には、すでに9.6等まで暗くなっていました。もっと早く観測して、明るい姿を見たかったです。天気には勝てませんね。(Ori)